常磐毎日
発行所 平市田町75
常磐毎日新聞社
営業部専用1210
編集部1269

呉服 御婚礼
京呉服 ふとん
畳富取揃え
佐川呉服店
平市五丁目 電1486

八島縣經済部長ら來平
冷凍工場の建設促進

平市がかねてから計画していた冷凍製氷工場は、総工費一億円で平市内に建設するとの結論を得たので着々とその準備にとりかかつているが、十九日八島県経済部長、佐藤水産課長の両氏が同工場建設の早急化を図るために来平、細部にわたつての調査などを行うことになつた。このため市当局や関係者が県側の意向を打診するとともに早期建設方の協力を求めることになつている。同工場は冷凍製氷工場と附属建物である缶詰工場が建設されることになつているものである。

実收は十九億圓
昨年の林産物收益

平林務駐在員室で調べたところによると昨年一年間管内の木炭、材木、松たけなど林産物の生産は金額にして十四億九千五百八十九万八千百円の収入があつた。しかし実際には検査をしなければならない木炭を横流しで約三億円が収入に計算されないほか、山菜、松たけなどの山の幸が大量に収穫されているところから約十九億の生産を上げているものと見込まれ、県内の約二十%を産出している。なお同所で調べた林産物の収入は次の通りである。

カツコ内は金額単位千円)
▽木炭八六九、三二〇俵(三〇四、二六二)▽普通薪二、七六六、〇〇〇束(九六、八一〇)▽薪材一五八、八八八石(二〇六、五四六)▽坑木六三〇石(一七一、〇八六)▽枕木用材二三三〇石(六九九)製材一般用材一五六、五四〇石(六二六、一六〇)▽パルプ材二七、二六八(三二、七二一)▽製材仕上板一四、七二〇(四四、一六〇)▽その他五〇〇(七、五〇〇)▽樹苗二、八〇〇、〇〇〇本(九、八〇〇)▽クリ八〇〇貫(九六、〇〇〇)▽椎茸八〇貫(三二)△松茸四五〇貫(六七五)▽杉皮一〇、〇〇〇坪(四〇〇)▽タケノコ六五〇貫(三二)▽竹材七〇〇束(一七五(▽桐三五〇玉(七〇〇)

平市の人口
71422名

平市統計課では二月一日現在の市の人口をまとめた。それによると総数は一月より二十六名減の七万一千四百二十二名(七万一千四百二十二四名)世帯数は前月より十二減つた一万三千九百八十二世帯(一万三千九百七十世帯)である。男女別にみると男は三万四千八百二十四名転入百四十名、転出二百一名、出生四十六名、死亡二十名、一方女は三万六千五百九十八名で転入百二十名、転出百三十五名、出生四十六名、死亡二十三名となつているが、人口が前月より減つているのは磐間地区の漁民が出漁したためである。

失保適用事業所増える

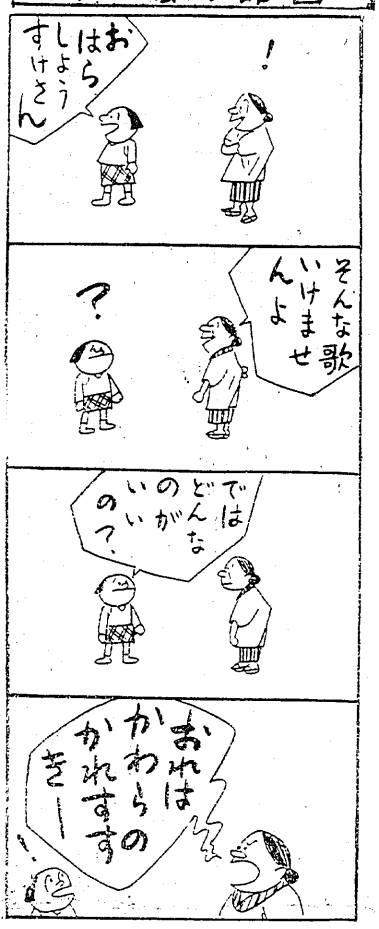
景気のよさがピンと響いた平職安管内の失業保険適要事業所は昨年末と比べ約二百三十カ所増えた。これは神武以来といわれる好景気が反映いままで五人以下の小事業所では同法に入らなくても良かつたのが適要されるために増えるもの。

同所の調べによると一月末現在で平管内の適要事業所は七百八十一カ所、被保険者数は三万六千九十二名となつている。また植田百三十一カ所、五千五百七十三名、小名浜百五十カ所、四千百五十七人となる。

北海道行き季節勞務者
百二十名募る

毎年売行きの良い北海道農業季節労務者は今年もまた百二十名の求人申込みが舞込んだが、来月下旬から四月上旬にかけて北海道の農家に出稼ぎに行くもので賃金も女手取り五千円から六千円男で六千円から七千円前後という好条件である。

子供の世界
画・風太郎



海の觀光映画製作

常磐地区観光連絡協議会では十八日午後一時から平市役所委員会室で「海の県立公園」(仮題)映画製作についての打合せ会を開くことになつた。当日は県の田中主事をはじめ相馬市観光協会、福島電鉄常磐交通、湯本温泉組合、常磐地区各市及観光協会の代表者が集まることになつている。

この映画製作については去に県商工労働部が観光宣伝計画の一環として決めたものであつてタイトルは磐城七浜をはじめ相馬地区の名所などを主とした映画でイーストマンカラー(天然色)による約千フイートのものが予定されている。

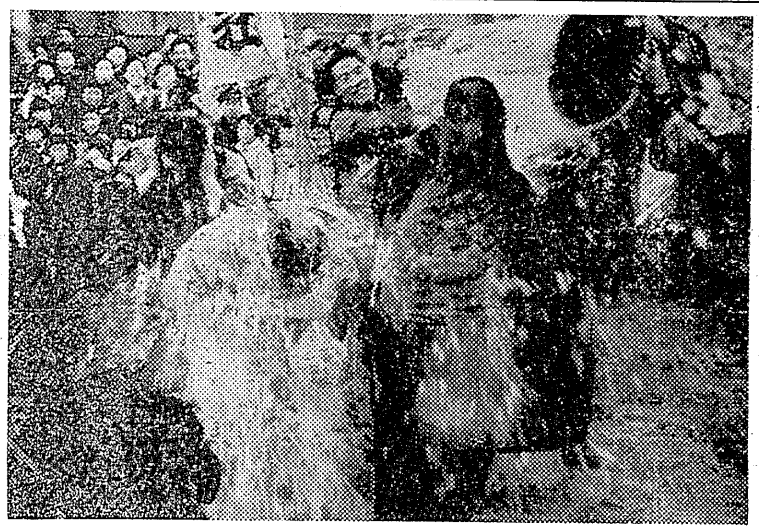
加藤所長放送

加藤平職安所長はきよう十五日午後六時四十五分から七時までNHK四局通信で高校生の就職状況について放送する。

五作品を推せん
優秀な育児体験記

平保健所では県主催の育児体験記を募集、審査の結果つきの五篇を優秀作品として県に推選することになつた、◇「十カ月半で完全離乳の体験」四倉町新町根本玲子(三ヒ)◇「三つ児の母親として」磐城市古湊小野きい子(三ム)◇「育児について特に入れた二、三のこと」◇「わが愛し子を小児マヒの難病に患わせて」内郷市前田井上静子(三ム)◇「人口栄養と完全離乳」磐城市川原岩林節子(三九)

七人の花ムコに
頭から冷水浴せる



鎌倉時代以来の風習といわれる奇習、平市沼之内の「水かけ祭」は旧正十五日のきのう十四日午後三時から部落の守り神愛宕神社前で挙行された。この水かけ祭は落部の新婚ホヤホヤの新郎たちに頭から水をかけて今年一年の無火災を祈願するものである。

○…祭りはまず部落の青年や古老がこの日の水祝儀者山野辺利男さん(三)ら七名を前にメデタヤ祝酒を振舞つたのち九尺四方に控える青年四人が〝イヤサー〟のイエ〟のはやしのもとにオケで三回にわたつて冷水を頭からかけるもの。

○…三回冷水を浴せられるうち二回までは新郎逃げ九尺四方の中で逃げ廻れるが、三回目には逃げることができず必ず頭から水を浴せられることになつており、水は近くの井戸から青年達がくんでくるわけだが、わざとこの水くみに時間をかけて新郎たちを寒空にさらすが、観衆の間からは〝かわいそうに…〟のささやきもれていた

○…またこの水祝儀が終ると部落の青年が七夕飾のようにダンザクを一杯につけた大竹をかついで愛宕神社から約四丁離れている諏訪神社に参詣するもので部落民たちや青年たちはこの帰りを待ち伏せしてダンザクをつけた笹竹をもぎとる。このダンザクを家に持つて帰れば魔よけにもなるといわれている。

(写真は水掛け祭)

全国図画展
準特選に

毎年売行きの良い北海道農業季節労務者は今年もまた百二十名の求人申込みが舞込んだが、来月下旬から四月上旬にかけて北海道の農家に出稼ぎに行くもので賃金も女手取り五千円から六千円男で六千円から七千円前後という好条件である。

木炭品評会
開く

平林産物検査所では十八、九日平市公会堂で郡内の木炭品評会を開き、席上優良者を表彰する。これは最近、代用炭はじめ化学燃料に木炭の需要がオサレ気味なため木炭の品質向上をはかる目的で行うもの。なお石城郡内の生産高は年間約九十万俵、うち四十五万俵が地元消費、その他郡外十万俵、県外出荷が三十万俵となつている。

貨車不足の悩み深刻
好景気もフイ

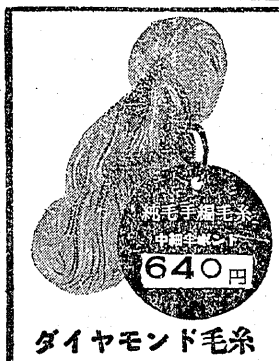
神武以来の好景気の反面貨車不足に悩んでいる常磐炭田には現在十一万トンを上廻る山元貯炭がうづ高く積まれ、東部石炭局など関係当局では配車増をめぐつて国鉄に陳情合戦をつづけているが、早急な解決は見込みうすいといわれ、大日本勿来炭礦などではこのピンチ切り抜けに三交代を二交代にして出炭の調節をはかつているという珍現象を示している。大口需要所から殺到する注目を目前にして出炭制限とはこれまた神武以来の珍現象でもあるが、東部石炭局ではこの貯炭をなんとか需要期間中に一掃したいと運動を進めている

菓銘 飛雪 凡平

常春の大島、下田めぐり 3泊4日
☆3月6日 平発6時
☆会費5、300 (米一升持参)
日帰り旅
水戸観梅
☆3月3日
☆会費450円 (バス代のみ)
観光バスの旅・・・団体募集
申込み又は問合せは
常磐観光社へ 電2200—2

看護婦 家政婦の御用命は:電三〇七番へ
労働大臣認可 平 看護婦 家政婦 斡旋所
個派出多忙=看護婦・家政婦=募集

外科 整形外科 性病科
内科 胃腸科 呼吸器科 小児科
産婦人科
レントゲン科
平市南町二三
財団法人 磐城済世会
松村病院
院長 松村亨
電話 本院 一〇七番 分院 一八九二 一六九六



ダイヤモンド毛糸
春色全色揃いました
半ポンド800円
ハシモトヤ糸店
平市銀座街 TEL14

最新型家具
◇御婚礼用家具
◇室内和洋家具
各種陳列中
★平地区福祉協指定店
★平指定商加盟店
家具のデパート
伊東家具店
平市新川町工場 電四二六四 平市大町
◇配達無料サービス◇

河童入水 (2)

俺はその時に限つてどうして親切気を起したの解からないが、金まで払つて一升の酒を都合してやつた。

「お祖父さんが喜びます。本当に有難うございました。」

娘は幾度も頭を下げて、薄暮の中に姿を消した。

しあわせとか禍いとかいうものは絶えず人の周囲につきまとつていて、ふとした隙に乗じては、途轍もない方向へと導いてしまう場合がある。それから二日ほど過ぎた日の夕方、この娘が俺の通るのを待つて路上にたゝずんでいた。

「あのときは嬉しゆうございました。おかげでお祖父さんに好きな酒を飲ませることができました。お祖父さんも大層感謝しまして、あなたに差上げるのだと、お魚を釣つてまいりましたの。どうぞ召上つて下さい」

そう云つて差出したのは、目の下三尺もあろうという大きな鯉である。

俺はその晩、この鯉を料理して一杯きこしめたが、娘に対して、切ない恋心を燃やしたことは云うまでもない。何だかこうーもやもやした怪しい夢の世界に引摺込まれるようでもあり、また、居ても立つてもいられない、いらだたしい感じでもある。しまいにははげしい心のうずきさえおぼえるようになつて、ながい間路傍に立尽しては娘の再来を願うようになつた。

其後娘は暫らく姿を見せなかつたが、十日ほど過ぎた晴れた日の朝、運良く逢うことができた。この機を逸したら今度は何時逢えるかわからないと思つたので、またの逢う日を堅く約して別れたが、向うでも満更ら厭ではないらしく、此方の都合で、いつでも逢つて呉れるのは嬉しかつた。

齢は十六ー名前は由美ー。家では祖父と二人暮しだと云つているが、その大人びた体からは成熟した女の匂を無限に発散させていた。

それからというものは、恋の奴となつた俺は、雨でも降らぬかぎりこの娘と、人目につかぬ場所を選んで逢引きを重ねていたが、その家へは遠慮して行かなかつた。最初つから爺さんにも逢つていたら斯様なことは起らなかつただろうと後になつて後悔したが、そのころは割合初心で、娘には無闇に逢いたいのだが、家まで行く気はしなかつたのである。

けれど何と云つても、最初の日から数えてその一年間というものは、それはそれは仕合せで、天下広しと雖ども、自分ほど幸福な者はないと思われたほどであつた。

ー手をとり合つて、夢のような薄もやをかきわけながら、卯の花匂う山沿の小径を歩いたこともあつたしーせいれつな流れの岸に坐しては蜜のような抱擁に胸ときめかしたこともあつたー

「ね、私たち、何時になつたらめおとになれるかしら?」

その都度娘は、心細いようなーそれでいて実は幸福に浸りきつている眼差しをあげて俺の耳元でさゝやくのであつた。

そのころ村人の間では、山奥の沼の畔に河童が出るという噂が伝わり始めた。

「おらア、こないだカツパを見たぞ!」

「ほうかおめえも見たか、おれも見ただよ。沼んとこで、じーつと釣糸を垂らしてよ、魚釣つてたでねえか。俺アおつかなくて逃げて来たが、昔つからあの辺にゃカツパが住んでたちゆからなあー」

近所では、寄ると触るとそんな話でもちきりだつた。しかしおれだけは本気にもしなかつたし、彼等の無智を鼻の先で嘲笑いながら、相も変らず娘との逢瀬を楽しんでいた。

村の奥には〝河童沼〟という沼があつて、山へ行つた者がちよいちよい引込まれたという話は、子供の頃の寝物語によく聞かされたことだし、事実そんな沼のあることはあるが、物寂しい場所だけに、そうした名前がつけられたのだろう。しかし今どき河童だなんて架空な動物をひつぱり出して、しかも見たの見ないのと吹聴して歩く愚かさを考えると、あきれるというよりも、むしろ滑稽にさえ思われるのである。

然るに、その河童否定論を唱えていた俺が人もあろうに、咄の河童を眼のあたり見てしまつたのだから驚かざるを得ない。

それにこうして一年の間、苦楽を共に愛しあつてきた女が河童の娘だと知つたとき、俺の驚がくはどんなだつたろう。忘れもしない運命の十一月十七日。愛すればこそ一入つのる苦しみの心痛し難く。将を得んと欲すれば先ず馬からのたとえ。老人の好きな酒にものいわして賎しい根性を持ちながら、かねて娘に聞いておいた山路を辿つて行つたのは、始めて娘に目見えた日から数えて丁度一年目。満山を彩どる紅葉の色ようやくおとろえ、心ばかりの風、はかなげなる尾花の末に靡いて、はや霜の降りたらん野面の上には、陰欝な雲脚が、急わしげに飛び交つているころであつた。

収容施設は満員
増える精神薄弱児

平児童相談所の収容児に最近精神薄弱児がふえ、県下唯一の精薄児収容施設である福島の大笹生学園も満員のためここに送ることも出来ずにいる。現在十五名の収容児中七名が精薄児だが今まで同所には貧困児、不浪児、家出児、非行児が多かつた。最近はこれに代つて精薄児が多くなつたもの。

これは二十三年児童福祉法施行以来不良、貧困、非行児などに対する社会の関心は深くなり、また世の中が落着いて来たためこれらの問題児は少なくなつたが、これにかわつて精薄児が表面に出て来たもので同所では管内福祉事務所、警察署などの通告により恵まれない環境の精薄児達を収容している。

県下唯一の収容施設である大笹生学園は定員五十名で満員、止むを得ず同所に収容したままとなつているが、この他同所に収容されない一般家庭にも精薄児は相当数いるといわれている。これらの特殊児童中余りひどくないものは普通学校に特殊学級を設けて教育する方法などが強く望まれている。

平児童相談所 職員の話

「最近の傾向として精薄児は多くなつた。原町、相馬、小名浜では普通学校にこれら児の特殊学級をつくつて教育し成績をあげているこれらの児童は社会的施設の不備のために社会から置きざりにされているわけだが、一日も早く温い施設に迎えられるようにしたいものである」

高山住宅 子供會の善行
廃品集め冷害見舞贈る

磐城市日本水素工場の高山住宅こども会=会長小名浜二小六年生小峰孝君ら百名=の少年少女たちは去る十日の日曜日に各家庭から集めた廃品の代金四千七百九十二円を「北海道の冷害で苦しんでいるお友だちにあげて下さい」と十三日市福祉事務所に寄託した。高山住宅こども会の行事で集会をやつたところ、だれからともなく「卒業前になにかいいことをしようと」話がまとまり、さつそく住宅全戸に回覧板を廻わし廃品の供出を呼びかけ、十日にはこども達が自転車に箱をつけて廃品を集めて歩いたもの。

無線通信科合格者決る
平公共補導所

第一回の石城公共職業補導所無線通信科入所試験は去る一月十六、七日行われたがこのほど次の通り決つた。なお第二回目の入所試験は三月中旬の予定。四家弘、鈴木巧、遠藤昇、日向寺正、小野義勝遠藤煕、伊藤実、小松清、鈴木一弼(豊間中)篠原末治、木幡季親鈴木信夫(内高)坂本昌巳(藤間中)猪狩茂郷(富岡一中)今福秀雄(大堀中)栗田良作(喜多方川口高)

首切りには反対
自労で平職安に申入れ

全日自労石城地区労協では十四日野島輝明議長ら代表十名が平職業安定所に面会を申込み、神武の好景気と謳歌されているが失対労務者には何等の好転もなく運賃、電力料金値上げの場合は却つて苦しい生活に追い込まれると次の要求を行つたが、同日は両者説明程度で研究問題として今後検討解決することになつた。

▽冬期の短縮作業時間を二月末まで実施する。
▽失対事業適格者証の交付反対
▽賃金の格付、応能制度反対、一律に値上げせよ。
▽排除者を出すな。
▽失対、特失の作業時間延長反対。
▽枠の拡大と完全就労(二月十五日)を実施せよ。

割烹 開花 田町 電一三九

青少年の歌
根本教諭作る

勿来市立第一中学校教諭根本邦雄氏はこのほど次のような勿来青少年の歌を作詞作曲した。

一、あゆむ我等は
みじたくきりり
わかくさにおう
野山におかに
みんな元気だ
元気だ意気だ
歌え我等は勿来の空に

二、春夏秋は
手足をのばし
冬のこがらし
力でたえる
みんな元気だ
元気だ意気だ
おどれわれらは勿来の海に

三、望みはるかに
われらは自由
きよき理想を
かいなにいだき
みんな元気だ
元気だ意気だ
もえろ我等は勿来の健児

カメラは田中

今晩のラジオ

◇NHK(第一)
六、〇〇 子供の時間
六、一五 次郎物語
六、四〇 スポーツ便り
六、四五 四局通信
七、一五 録音ニュース
七、三〇 希望音楽会
八、一五 演芸独演会
九、〇五 ニュース解説
九、一五 歌謡劇
九、三〇 社会展望
一〇、一五 放送劇
一一、一〇 きょうの国会から

ラジオ古山

◇ラジオ福島
六、〇五 トニーの童話
六、一五 赤胴鈴之助
六、四〇 永遠に答えず
七、一〇 録音ニュース
七、一五 中合アワー
七、三〇 歌う三人娘
八、〇〇 素人歌合戦
八、三〇 テルミーおしゃれミュージック
九、〇〇 明色歌謡ゲーム
九、三〇 ユーモア歌合戦
一〇、〇五 名作アルバム
一〇、一〇 夜の案内
一〇、一五 夜の調べ

今晩の映画

▼世界館 十九日マデ
七、四三 誰かが殺される
八、三七 子の刻参上
▼ひかり座 十八日マデ
七、三三 敵中突破せよ
八、五三 十人のならず者
▼聚楽館 十八日マデ
六、四〇 必殺の一弾
八、四〇 山
▼平館 十九日マデ
六、三五 顔
八、三〇 美女こうもり
▼民劇 十九日マデ
七、〇〇 嫁取り試験
八、〇〇 親馬鹿天国
九、〇七 大安吉日
▼東映劇場 十九日マデ
七、〇〇 神変美女桜
八、四〇 修羅時鳥

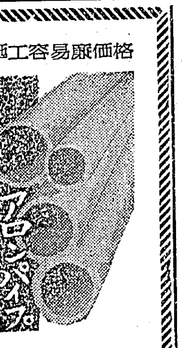
味覚の殿堂
特製 富士ランチ カレーライス
味自慢 支那そば カツ丼
★御商談に……会合に大広間を御利用下さい★
江戸前寿司 富士食堂 平市材木町 TEL 677

民族の地下足袋運動靴 丸高 TEL 649

石炭 コークス
火力の強い 火持の長い カスの少い 徳用石炭
◇電話三七番・二三七番へ 一俵よりお届けいたします
平市田町 常磐炭礦販売会社

うまい…安い… 出前が早い 酒喜庵 デンワ 一一七一

施工容易廉価格



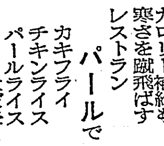
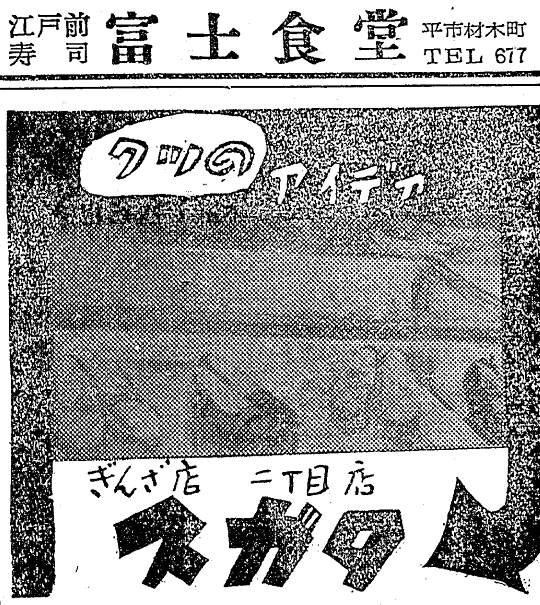
(給水・排水・ガス管用)
◎斯業界の先駆者
東亜合成化学の塩化ビニールパイプの発売
タイルと建築材料
株式会社 野内商会
平市四丁目15 TEL 0011 1078

タイラウンドウグ
平市才槌小路 TEL 108

不動産売買・仲介鑑定貸家斡旋
福島県知事公認取引所
平宅地建物取引所
平市才槌小路踏切際 色川材木店内 電三六一番

眞根井商店 平市銀座 電二〇二五

寒い季節は人体の休息時期です
カロリー補給も寒さを蹴飛ばすレストラン
パールで
カキフライ
チキンライス
パールライス
などを!!



レストラン パール
平市田町 電1388